

# やわたの上下水道

第15号  
令和8年1月

## 下水道管路の全国特別重点調査について

令和7年1月、埼玉県八潮市において、下水道管の破損に起因すると考えられる道路陥没が発生し、下水道の使用制限（洗濯や風呂等）や通行規制などにより、地域社会に大きな影響を及ぼしました。

国土交通省からの要請により、同様の事故を未然に防ぐため、八幡市が管理する下水道管の調査を実施しています。

### 本市の調査対象・延長

- 口径2m以上の下水道管（雨水管）
- 設置後30年を経過した下水道管（雨水管）
- 調査を実施する延長約2.2km

### 調査方法

調査員が直接、下水道管内に入り、腐食等の異常が無いかを目視確認にて点検しています。

（調査は、令和8年3月末までに完了する予定です。）



点検の様子（八幡市内の雨水管きよ）

## 下水道管老朽化に対する取り組み

下水道管の機能と安全性を確保するため、事前の調査により腐食などを確認した下水道管から優先して、新しい管に取り替える工事を進めています。

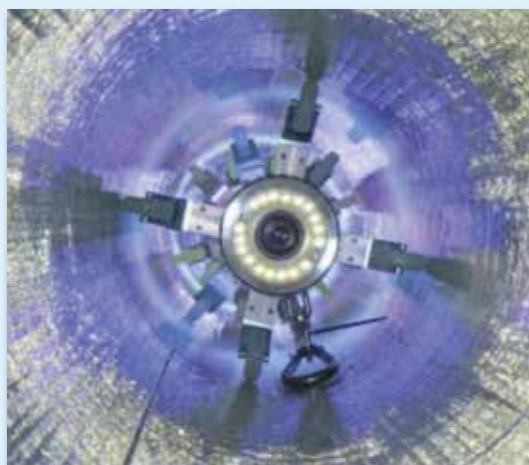
この工事は主に「更生工法」と呼ばれる工法で施工しています。「更生工法」とは、古くなった管の内面に新たな管を構築する工法で、道路を掘らずにマンホール部分から工事が行えるため、工事期間の短縮が可能となり、通行規制などによる皆様へのご負担を減らすことができます。



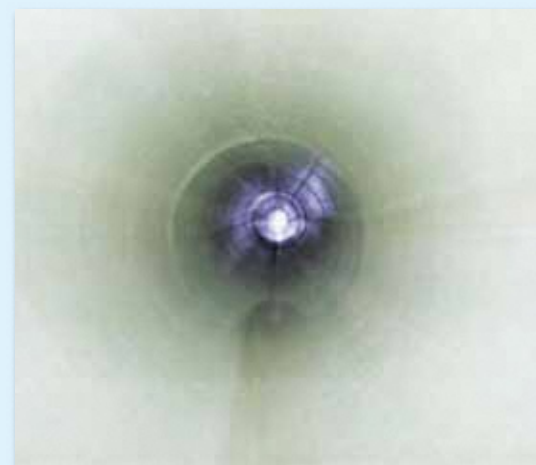
新しい管材を既設管路内に引込む作業



施工前  
（更生前の管の内面）

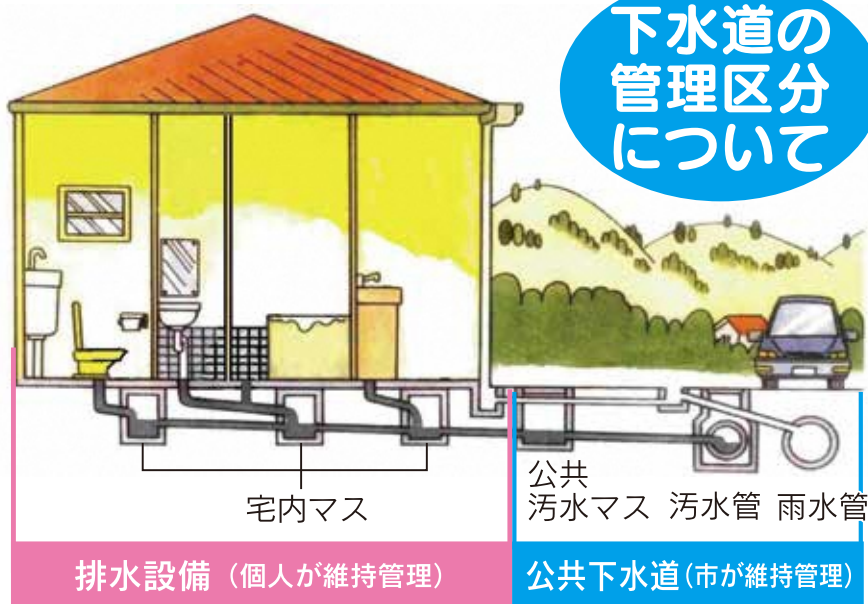


施工中  
（硬化装置内蔵カメラ）



施工後  
（新しくなった管の内面）





下水道施設は、個人が管理する部分と市が管理する部分に分かれており、個人が管理する部分を排水設備、市が管理する部分を公共下水道といいます。

排水設備と公共下水道の区分は上の図のとおりです。区分の境目の公共汚水マスは公共下水道に含まれます。公共汚水マスは、宅地内（一般的に官民境界から1m程度）に設置されています。（下水道課 ☎983-5459）

## 悪質な訪問業者にご注意ください

「水道の水質検査を無料で行っている」、「下水の排水管の清掃を格安で行っている」などと話をもちかけられ、不必要な浄水器の購入や排水管清掃作業の高額な契約をしまい、後でトラブルになるケースがみられます。

また、市の委託を受けているかのような訪問やチラシの投函等にもご注意ください。不審な訪問業者に対しては、「身分証の提示を求める」、「その場ですぐに契約や支払いをしない」、「強引な場合は警察に通報する」等の対応が考えられます。契約に関するトラブルについては八幡市生活情報センター（☎983-8400）へご相談ください。



## 木根の侵入による排水設備や公共汚水マスのつまりについて

### ①排水設備のつまりに関して

各家庭の宅内マスや排水管等の排水設備に敷地内の樹木の根が侵入し、汚物等が絡まって排水管をつまらせてしまうといった排水不良が発生しています。樹木の根が侵入する原因は、経年劣化による排水設備の破損や接続不良等が考えられますが、これは高圧洗浄による一時的な通管では解消されませんので、排水設備の取替や修繕等の工事が必要になります。

なお、排水設備工事は軽微なものを除いて八幡市下水道排水設備指定工事業者でなければ行うことができません。市ホームページに掲載の指定工事業者一覧をご確認のうえ、原因の調査や工事等のご依頼をお願いします。下水道課の窓口でも指定工事業者一覧をご確認いただけます。

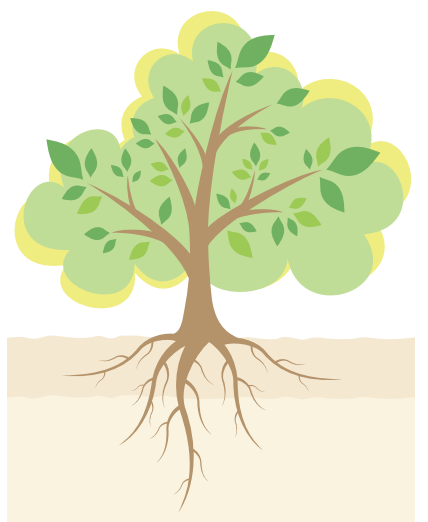


排水設備に樹木の根が侵入

### ②公共汚水マスのつまりについて

公共汚水マスのつまりは、清掃や修理をされる前に下水道課へ問い合わせてください。個人で業者に依頼されて市が管理する公共汚水マスの清掃や修理をされた場合、市はその費用を負担することができませんのでご注意ください。また、破損やつまりの原因となるため、公共汚水マスの周りには樹木をできるだけ植えないようにしてください。

個人が管理する樹木の根による公共汚水マスの破損等については清掃や修理の費用が個人負担になる場合があるため定期的な点検をお願いします。



←市ホームページ  
リンク先

八幡市下水道排水設備  
指定工事業者一覧

（下水道課 ☎983-5459）

## 有機フッ素化合物（PFOS、PFOA）について

令和8年4月1日より、国において有機フッ素化合物のPFOS及びPFOAが「水質基準」に位置づけられ、基準値は「PFOS及びPFOAの量の和として50ng/L以下」と設定されることになりました。

なお、基準値50ng/Lとは、体重50kgの人が毎日2Lの水を一生涯にわたり飲用しても問題ないとされる値です。

本市では、有機フッ素化合物のPFOS、PFOAについて令和2年度から水質検査を実施しており、これまでの結果すべてにおいて基準値を大幅に下回っています。

市ホームページ  
リンク先↓

八幡市水道水の水質  
検査結果

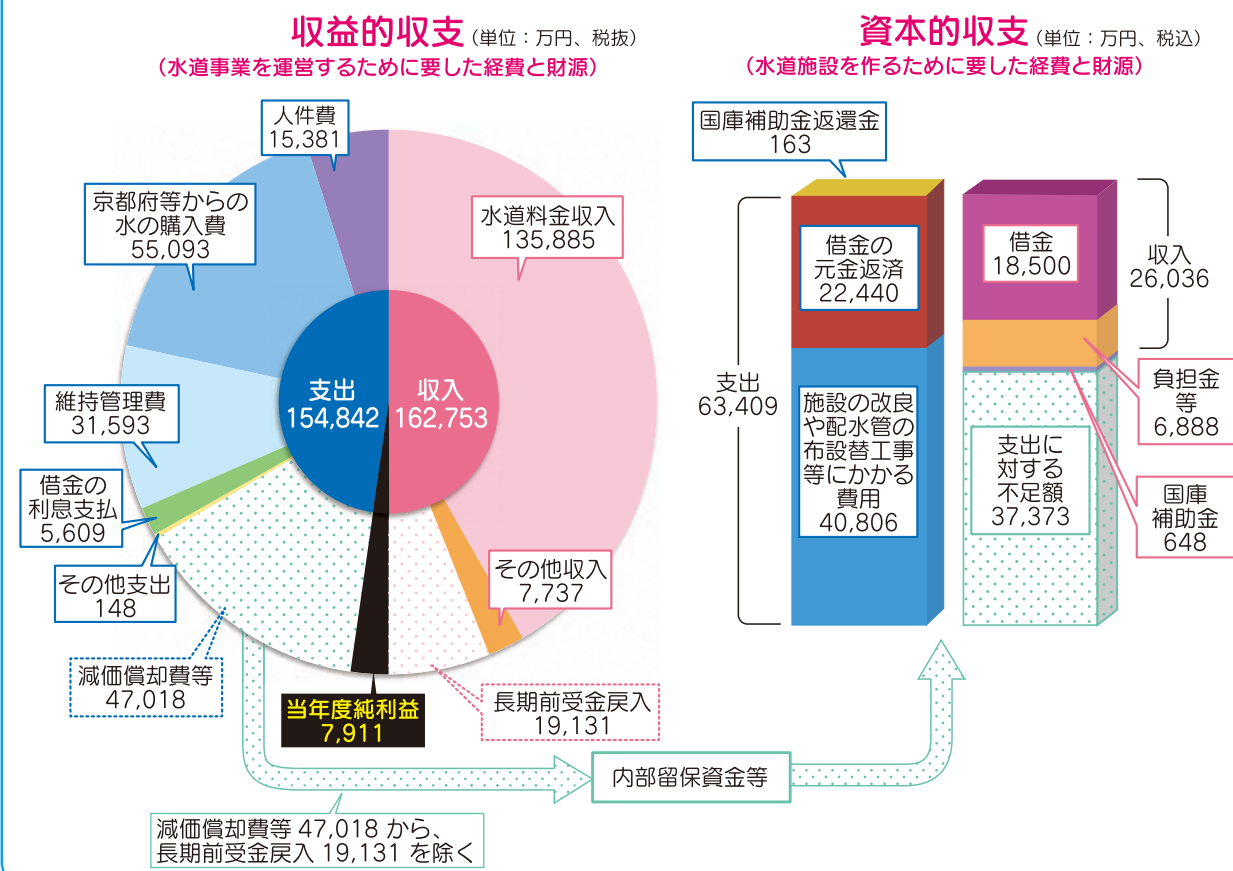


本市の水質検査結果（ng/L） 給水栓水 最大値						
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
検査結果	6	9	6	6	5	5

（上水道課 ☎983-5328）

.....上下水道事業の決算状況について.....

令和 6 年度水道事業会計決算状況



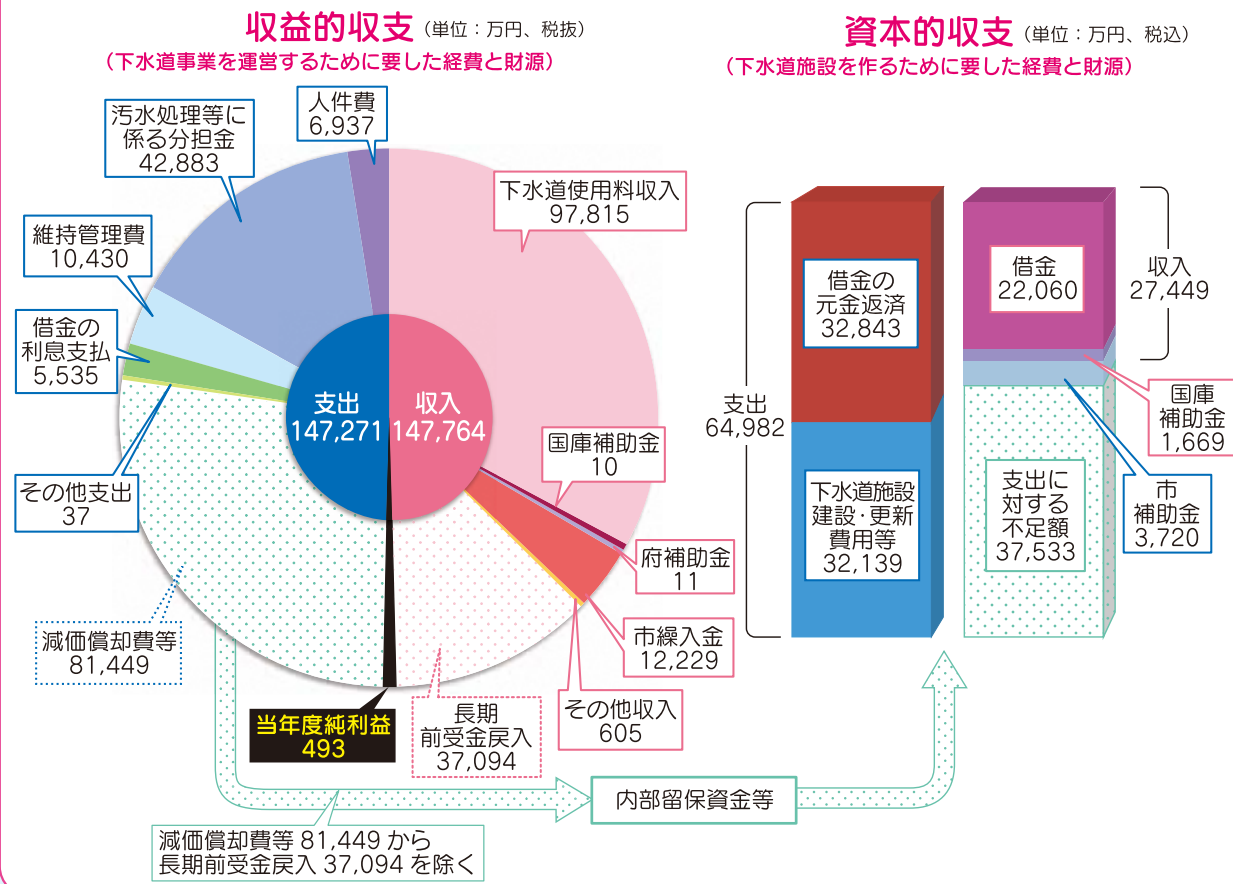
【水道事業】

収益的収支では、水道料金の減免を実施した令和 5 年度に比べ、給水収益は増加しましたが、減免の際、補てんのため一般会計からの繰入を行っていたことなどから、他会計補助金は減少しました。長期前受金戻入等も減少し、全体的な収入は減少となりました。また、維持管理費等が減少したことなどから、支出全体についても前年度に比べ減少となりました。収入と支出の差引の結果、7,911 万円の当年度純利益（黒字）となりました。

〈令和 6 年度に行った主な工事〉

- ・ 第9号取水井新設工事
- ・ 西山第2配水池耐震補強工事
- ・ 男山指月地区他重要給水施設配水管布設替工事
- ・ 橋本栗ヶ谷地区配水管及び栗ヶ谷調圧流量計室行き送水管布設替工事
- ・ 八幡柿木垣内地区配水管布設替工事
- ・ 橋本駅前地区配水管布設替工事

令和 6 年度下水道事業会計決算状況



【下水道事業】

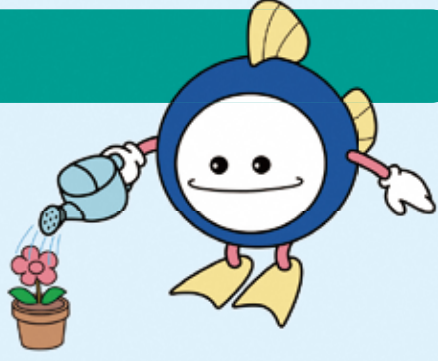
収益的収支では、下水道使用料の減免を実施した令和 5 年度に比べ、下水道使用料が増加しましたが、減免の際、補てんのため一般会計からの繰入を行っていたことなどから、他会計補助金は減少しました。国庫補助金等も減少し、全体的な収入は減少となりました。また、維持管理費が減ったことなどから、支出全体についても前年度に比べ減少となりました。収入と支出の差引の結果、493万円の当期純利益（黒字）となりました。

〈令和 6 年度に行った主な工事〉

- ・ 橋本地区枝線管渠移設工事
- ・ 下奈良地区枝線管渠布設工事
- ・ 橋本地区雨水排水管渠布設工事
- ・ 八幡・美濃山地区他管渠改築工事
- ・ 八幡地区管路施設耐震化工事

八幡市水道ビジョンを見直します

八幡市では、「安心と信頼の水を未来まで」を基本理念として、将来にわたり安全な水道水の安定供給を維持するため、中長期的な目標や経営計画を定めた「八幡市水道ビジョン」を策定し、今後の水道事業のあり方についての検討や、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組んでいます。今年度はビジョンの中間改訂の時期を迎えており、現在見直しを行っています。改訂した八幡市水道ビジョンは、市ホームページ等で令和 8 年 4 月頃に公開する予定です。





## 水道施設の耐震化について

令和 6 年度末における水道施設の耐震化率（耐震適合率）	
施設種別	
浄水場	100.0%
配水池	100.0%
基幹管路	35.1%
重要給水施設配水管路	41.2%
全管路	29.7%

（注）管路については、耐震適合率



←市ホームページリンク先  
水道事業における耐震化の状況について

令和 6 年度末時点での水道施設における耐震化の状況は、水道管で約 30%となり、前年度より約 1%上昇しました。また、令和 6 年 5 月末に西山第 2 配水池の耐震化工事が完了し、配水池の耐震化率は 100%となりました。

八幡市では、水道水をみなさまへお届けするために、これまでに多くの水道管を整備し、その布設延長は約287kmに達しています。これら水道管の法定耐用年数（水道管の更新の目安となる年数）は 40 年となっており、現在約 37%の水道管が更新時期を迎えています。

管路の更新及び耐震化には多大な費用と時間が必要ですが、今後も継続して安全な水をお届けするために、計画的に工事を行ってまいりますのでご協力をお願いいたします。

※耐震適合率とは、総延長のうち、耐震適合性のある管路延長の割合です。「耐震適合性のある管路」とは、「耐震管」に「耐震管以外でも管路が布設された地盤の性状を勘案すれば耐震性があると評価できる管」を加えた管のことをいいます。（上水道課 ☎983-5360）

## 受水槽の管理は設置者の責任です！

受水槽に入るまでの水質は八幡市が管理していますが、受水槽から蛇口までの水質は設置者が管理することになっています。設置者は、いつでも安全で衛生的な水が供給されるよう管理を行ってください。

### ★適正管理のポイント★

#### ○受水槽の清掃

毎年 1 回以上、定期的に行ってください。

#### ○施設の点検等

有害物、汚水等による水の汚染が生じないように、水槽の点検等を行ってください。

#### ○定期検査

毎年 1 回以上定期的に、国土交通大臣及び環境大臣の登録を受けた検査機関に依頼して検査を受けてください。また、検査結果を市に報告してください。

#### ○図面・書類の保管

施設の図面は常時保管し、点検記録、水質検査記録等の管理記録は 3 年間保存しましょう。

#### ○給水の緊急停止

水質に異常を認めたときや、給水された水により健康を害する恐れがあると分かったときは、ただちに給水を停止し、利用者等の関係者に周知してください。また、市にその状況を連絡してください。（上水道課 ☎983-5328）



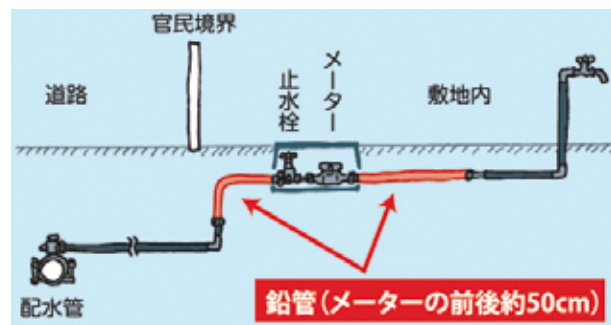
## 鉛製給水管について

八幡市では、基本的に鉛製給水管の取替えは完了していますが、諸事情により残っている箇所があります。

鉛製給水管が残っている箇所につきましては、漏水等が発生した場合に引き続き個別に取替えをさせていただきますので、市へご連絡ください。なお、取替費用は市が負担しますが、障害物の撤去やタイル等で装飾されている場合の復旧は個人負担となります。

また、鉛製給水管は旅行等で水を長時間使用されない場合でも、水質基準上問題ありませんが、わずかに鉛が溶け出すこともありますので、使い始めにバケツ 1 杯分くらいの水を洗濯や掃除等の飲み水以外にお使いください。水洗トイレを使用していただくことでも同様の効果があります。

（上水道課 ☎983-5328）



## 水道管の凍結にご注意ください

気温がマイナス 4 度以下の厳しい寒さになると、防寒の不十分な水道管内では、水が凍り破裂する可能性があります。凍結は屋外に配管された次のようなところで多く発生します。

- ・管が露出しているところ
- ・風当たりが強いところ

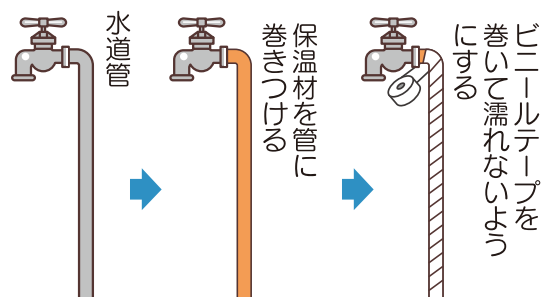
#### ○防寒対策としては

保温材を管に巻きつけ、保温材自体が水に濡れないように上からビニールテープ等でしっかり巻いてください。

#### ○水道管が破裂したら

メーターボックス内にある元栓（止水栓）を閉めてください。その後、八幡市指定給水装置工事事業者へ修理をご依頼ください（工事事業者は、市ホームページを参照いただくか、電話等で市までお問い合わせください）。凍結による漏水が空き家等で発生すると水道料金が高額となることもあるため、特に注意してください！

（上水道課 ☎983-5328）



↑市ホームページ  
リンク先

八幡市指定給水装置  
工事事業者一覧